

## 1. はじめに

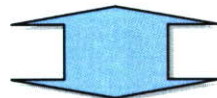
本プログラムは、院内がん登録（以下、がん登録）の 2006 年度版標準データ項目の CSV（Comma-Separated Values）と、がん登録 CDAR2（Clinical Document Architecture Release 2）の XML（eXtensible Markup Language）を相互変換するプログラムである。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <ClinicalDocument classCode="DOCCLIN" moodCode="EVN" xmlns="urn:hl7-org:cdar2">
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="FOCD_H0000040" displayable="true" />
  <templateId root="1.2.392.200119.6.1.1" extension="FOCD-H0000040-OUH-0-V1.0"
    displayable="false" />
  <id nullFlavor="NI" />
  <code code="K20068" codeSystem="1.2.392.200119.11.1.1.2"
    codeSystemName="OUHCancerRegistrationDefinitionVersionCode" codeSystemVersion="1" />
  <title>患者登録</title>
  <effectiveTime value="20080118164418" />
  <confidentialityCode nullFlavor="NI" />
  <recordTarget typeCode="RGT" contextControlCode="OP">
    <patientRole classCode="PAT">
      <id root="1.2.392.200119.11.1.1.3" extension="1" displayable="false" />
      <addr>吹田市山田丘1-1</addr>
      <addr>
        <city partType="QTY">吹田市山田丘</city>
        <postalCode partType="ZIP">565-0871</postalCode>
      </addr>
      <patient classCode="PSN" determinerCode="INSTANCE">
        <name use="IDE">
          <family partType="FAM">患者</family>
          <given partType="GIV">1</given>
        </name>
        <name use="SYL">
          <family partType="FAM">加ノヅ</family>
          <given partType="GIV">1</given>
        </name>
        <administrativeGenderCode code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.1"

```

XML ファイル



CSV・XML の相互変換

1.1.カンジャ	1.カンジャ.1.患者	1.患者.1.1.1942/11/27.1.565-0871.27.吹田市山田丘1-1.吹田市山田丘.2006/10/31.200
2.1.カンジャ	2.カンジャ.2.患者	2.患者.2.1.1942/11/28.10.565-0872.27.吹田市山田丘1-2.2006/11/1.2007/1/30.1
3.1.カンジャ	3.カンジャ.3.患者	3.患者.3.1.1942/11/29.27.吹田市山田丘1-3.2006/11/7.2007/1/18.3.2.1.1.1
4.1.カンジャ	4.カンジャ.4.患者	4.患者.4.2.1942/11/30.27.吹田市山田丘1-4.2006/12/21.2007/3/28.1.2.1.1.1
5.1.カンジャ	5.カンジャ.5.患者	5.患者.5.2.1942/12/1.27.吹田市山田丘1-5.2007/1/11.2006/12/7.1.3.2.2.1
6.1.カンジャ	6.カンジャ.6.患者	6.患者.6.1.1942/12/2.27.吹田市山田丘1-6.2007/1/4.2007/1/4.1.3.1.1.1
7.1.カンジャ	7.カンジャ.7.患者	7.患者.7.2.1942/12/3.27.吹田市山田丘1-7.2006/11/18.2007/2/2.5.3.1.1.1
8.1.カンジャ	8.カンジャ.8.患者	8.患者.8.1.1942/12/4.28.吹田市山田丘1-8.2007/1/19.2006/12/12.2007/2/9.1.2
9.1.カンジャ	9.カンジャ.9.患者	9.患者.9.2.1942/12/5.27.吹田市山田丘1-9.2007/1/9.2007/1/18.1.9.1.1.1
10.1.カンジャ	10.カンジャ.10.患者	10.患者.10.2.1942/12/6.27.吹田市山田丘1-10.2007/1/5.2007/1/22.5.3.

CSV ファイル

## 2. 機能概要

- CSV データ配列パターン作成機能：

使用目的などに合わせてがん登録 CSV の配列を変えることが出来るように、CSV 配列パターンを作成する機能である。作成した CSV 配列パターンを変更または削除することも可能である。

- CSV・XML 変換機能：

指定した CSV データ配列パターンで、がん登録の CSV と XML を相互変換する機能である。

### 3. CSV データ配列パターン作成機能

使用目的などに合わせてがん登録 CSV の配列を変えることが出来るように、CSV 配列パターンを作成する機能である。作成した CSV 配列パターンを変更または削除することも可能である。

下記のデフォルトパターンについては、変更と削除はできない。

デフォルトのパターン：

- 全て
- パターン 1 (必須項目◆)
- パターン 2 (標準項目●)
- パターン 3 (必須項目+オプション◆△)
- パターン 4 (標準項目+オプション●△)



図 3-1

### 3.1. パターンデータ一覧表示機能

選択されたパターンのパターンデータを下記項目で一覧表示する機能である。

- 1) 選択（項目チェックボックスの ON または OFF を表示、選択）
- 2) CSV 配列番号（CSV の配列番号を表示・入力）
- 3) 項目番号（がん登録の項目番号を表示）
- 4) 項目名（がん登録の項目名を表示）

CSV データ配列パターンの作成画面を表示時、またはパターン選択の空白を選択した場合は、**1)**は患者 ID 番号にのみチェックされる。**2)**は全て未入力になる。



図 3-2

### 3.2. パターン名入力機能

作成または変更するパターン名を入力する機能である。

「変更・削除パターン選択機能」でパターンを選択した場合は、指定したパターンが表示される。

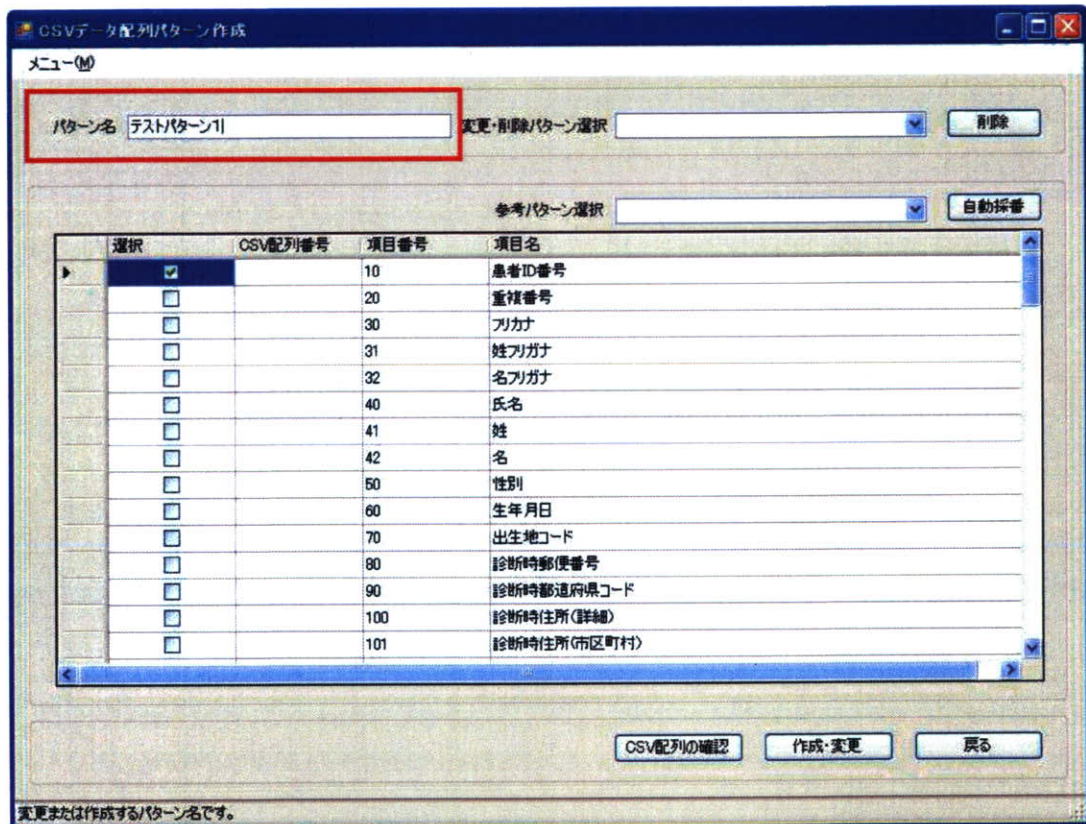


図 3-3

### 3.3. 変更・削除パターン選択機能

変更または削除したいパターンを選択する機能である。

選択したパターン名は「パターン名」、「変更・削除パターン選択」、「参考パターン選択」に表示され、「パターンデータ一覧」に選択したパターンのデータが表示される。

「パターンデータ一覧」の「選択」「CSV 配列番号」を編集の場合は、編集中的数据は上書きされる。



図 3-4

### 3.4. 参考パターン選択機能

参考にしたいパターンを選択する機能である。

「パターンデータ一覧」に選択したパターンのデータが表示される。

「パターンデータ一覧」の「選択」「CSV 配列番号」を編集の場合は、編集中的数据は上書きされる。



図 3-5

### 3.5. 項目選択機能

「自動採番機能」を使用する場合に、パターンに設定する項目を選択する機能である。項目のチェックを ON・OFF することが可能である。

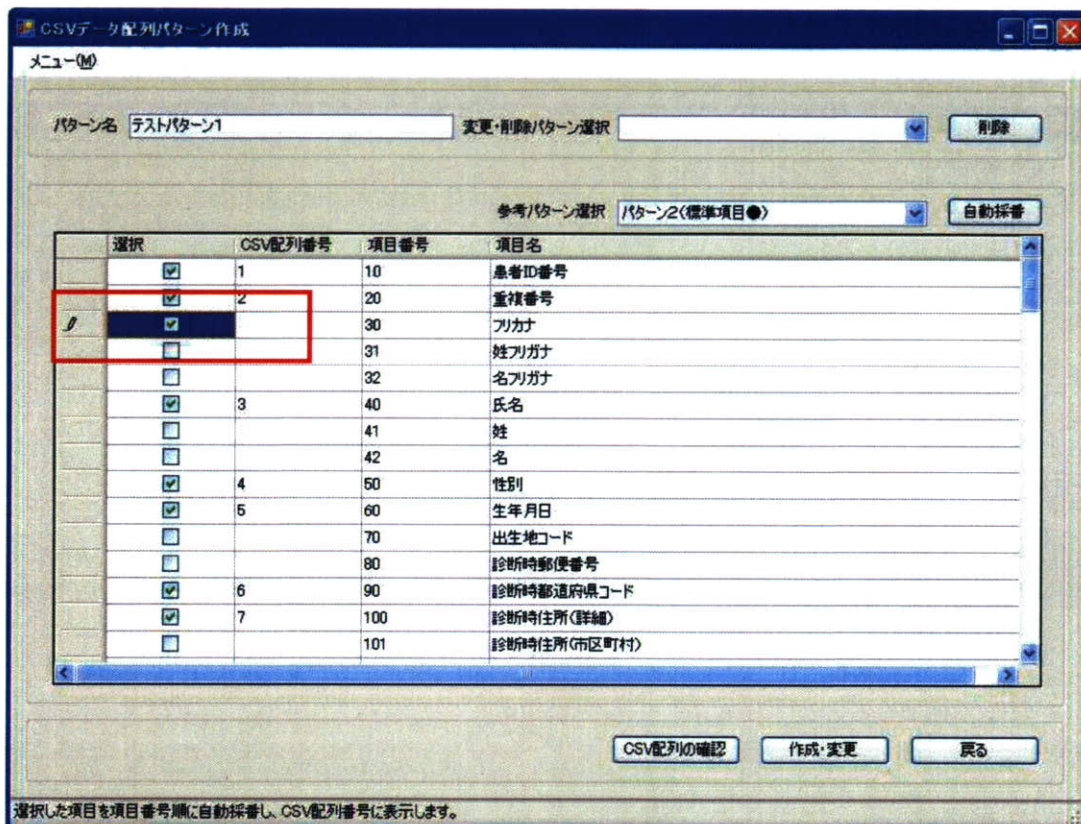


図 3-6



### 3.6. CSV 配列番号入力機能

「自動採番機能」を使用せず順不同で項目を選択したい場合に、設定する項目の「CSV 配列番号」に番号を入力する機能である。

入力は数字のみ入力できる。入力した番号は 1 から連番でないといけない。

患者 ID 番号はかならず番号を入力しないといけない。

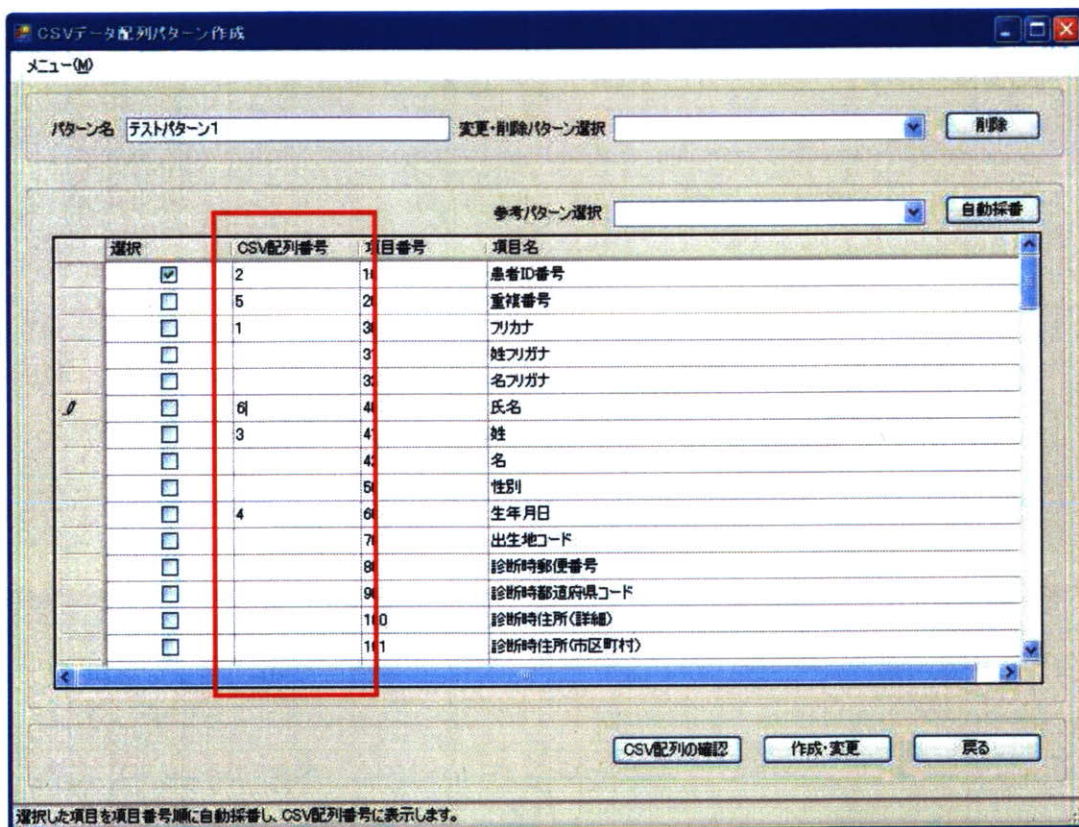


図 3-7

### 3.7. 削除機能

「変更・削除パターン選択」で選択したパターンを削除する機能である。  
 デフォルトのパターンは「変更・削除パターン選択」に表示されない。  
 パターンを選択していない場合は削除できない。



図 3-8

### 3.8. 自動採番機能

「項目選択機能」でチェックした項目に対して上昇順に「CSV 配列番号」の番号を 1 から順番に割り振る機能である。

患者 ID 番号をチェックしていない場合は自動採番できない。



図 3-9

### 3.9. CSV 配列確認機能

「CSV 配列番号」に設定した番号順の CSV 配列を確認する機能である。

「CSV 配列番号」に設定した番号が正しい場合のみ CSV 配列の確認ダイアログが表示される。

患者 ID 番号に番号を入力していない場合や、番号が 1 から連番になっていない場合は、確認できない。



図 3-10

### 3.10. CSV 配列確認ダイアログ表示機能

「CSV 配列番号」の番号順で CSV 配列を表示する機能である。

「3.9.CSV 配列確認機能」で正しい操作を行った場合に表示される。

実際に作成される CSV ファイルには項目名等のヘッダー部分は設定されず、データのみになる。

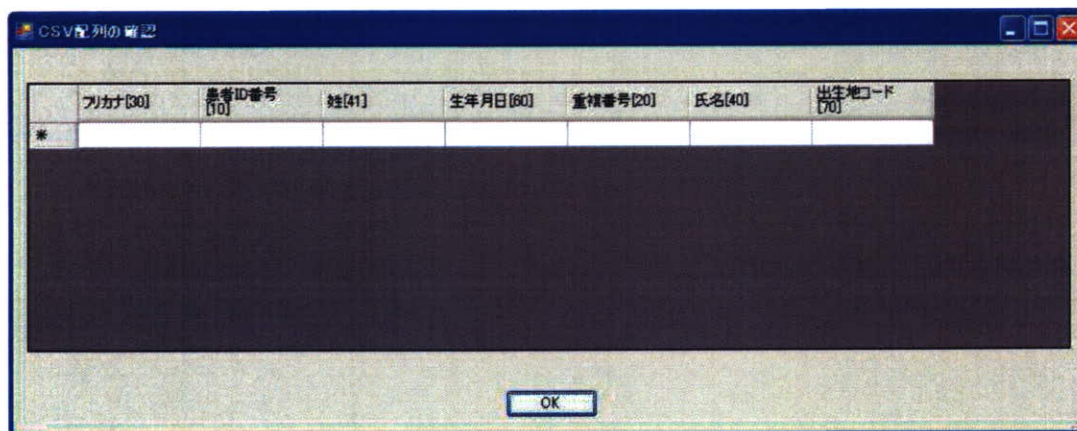


図 3-11

### 3.11. 作成機能

「パターンデータ一覧」の「CSV 配列番号」に設定した内容でパターンを作成する機能である。

パターン名は「パターン名」に入力または選択したパターン名になる。

「パターン名」が設定されていない場合は作成できない。

「パターンデータ一覧」の「CSV 配列番号」に設定した番号が正しくない場合は作成できない。



図 3-12

### 3.12. 変更機能

「パターンデータ一覧」の「CSV 配列番号」で設定した内容で、選択されたパターンを変更する機能である。

変更されるパターンは「パターン名」に入力または選択したパターンである。

「パターン名」が設定されていない場合またはデフォルトのパターンの場合は変更できない。

「パターンデータ一覧」の「CSV 配列番号」に設定した番号が正しくない場合は作成できない。

変更するパターンの内容が正しい場合は変更確認メッセージダイアログが表示される。

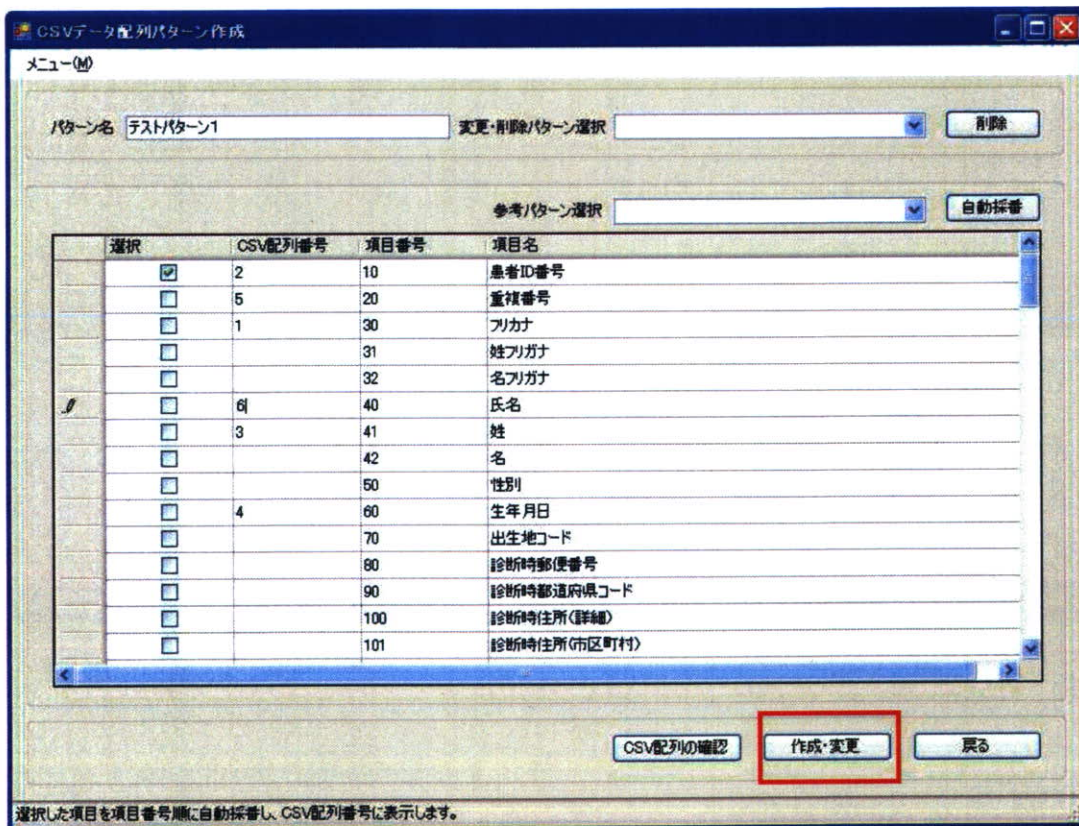


図 3-13

## 4. CSV・XML 変換機能

指定した CSV データ配列パターンで、がん登録の CSV と XML を相互変換する機能である。

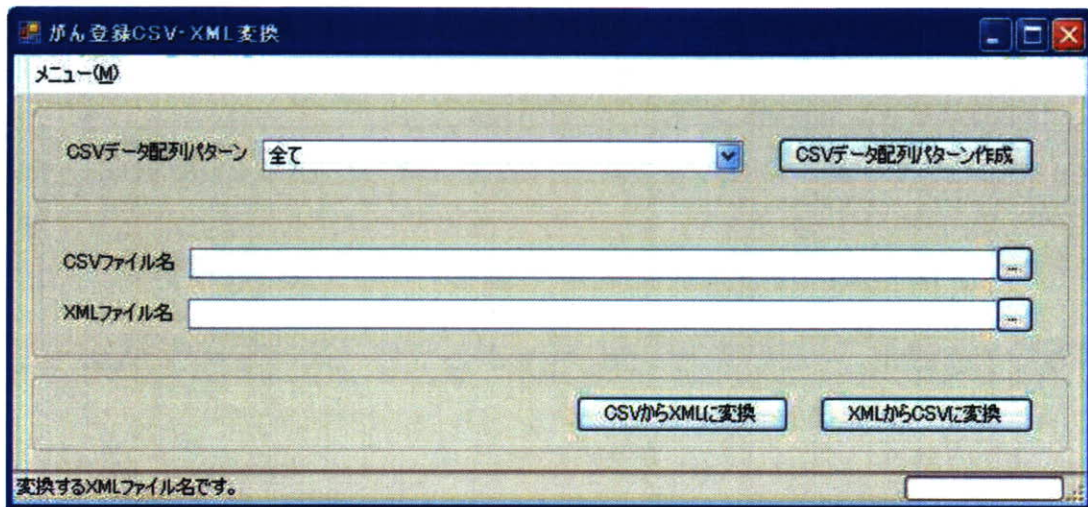


図 4-1



#### 4.1. CSV データ配列パターン選択機能

CSV データの配列パターンを選択する機能である。

本プログラム再起動時は、前回選択したパターンが選択され表示される。

CSV から XML に変換する場合は変換前の CSV データのパターンを選択する。XML から CSV に変換する場合は変換する CSV データのパターンを選択する。

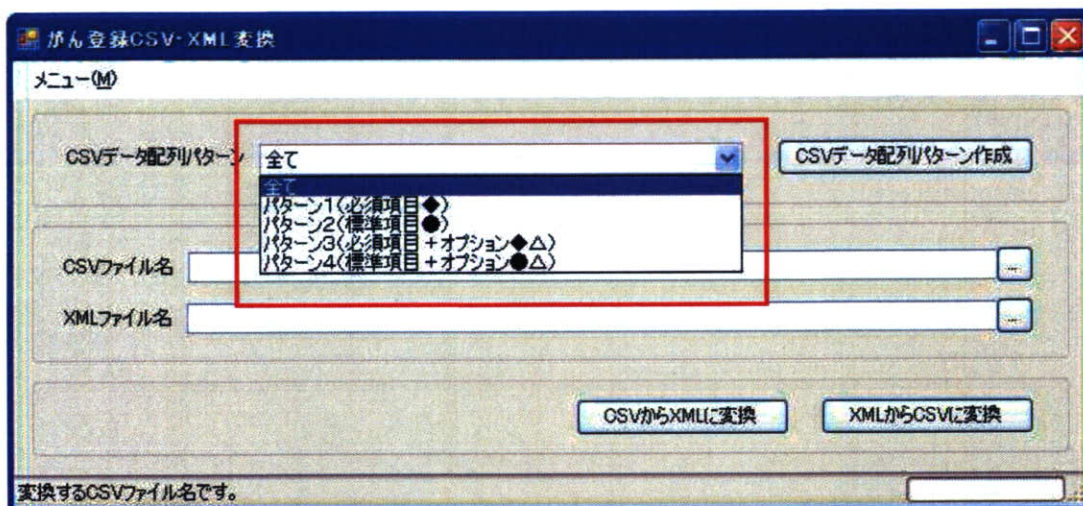


図 4-2

#### 4.2. CSV ファイル名入力機能

XML に変換したい CSV ファイル名を入力する機能である。

複数ファイル名を入力することもできる。

ファイル名は絶対パス（フルパス）で入力しなければならない。

複数入力する場合はファイルとファイルの間に“,”（カンマ）を入力する。複数入力する場合もファイル名は絶対パス（フルパス）で入力しなければならない。

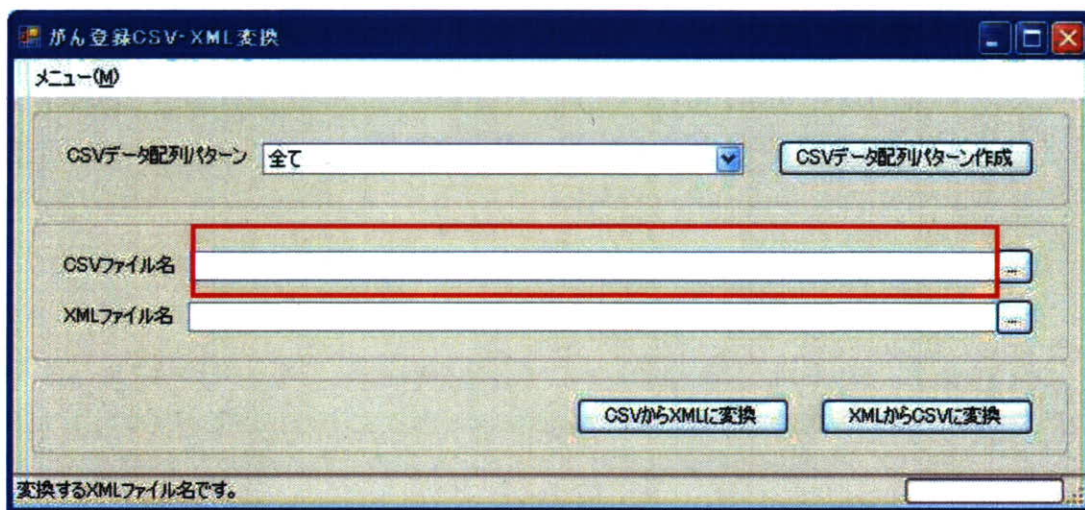


図 4-3

#### 4.3. CSV ファイル選択機能

XML に変換したい CSV ファイルを選択する機能である。

CSV ファイル選択ダイアログが表示される。

複数のファイルを選択することが可能である。

選択されたファイル名は「CSV ファイル名」に表示される。

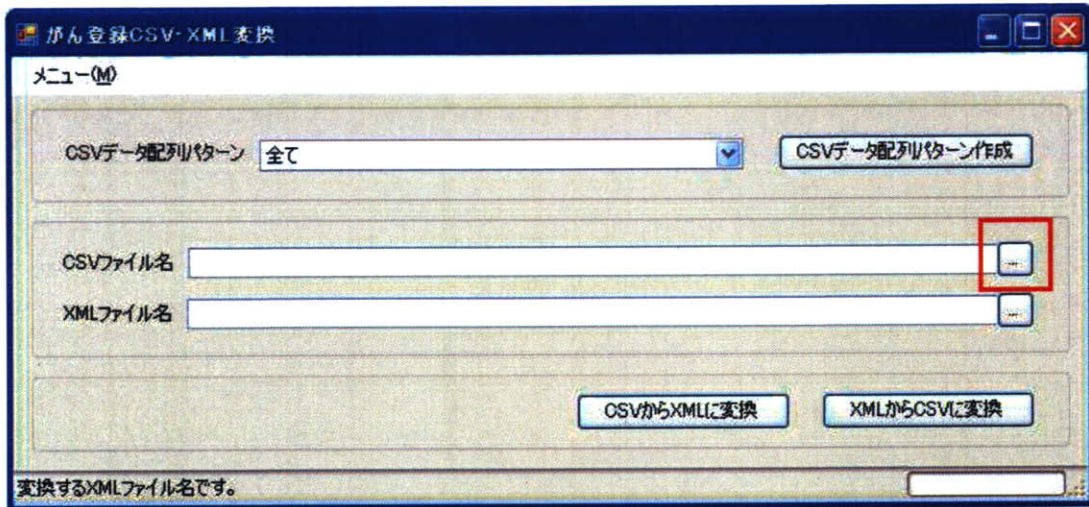


図 4-4

#### 4.4. CSV から XML に変換機能

「4.1.CSV データ配列パターン選択機能」で選択されているパターンで、「4.2.CSV ファイル名入力機能」で入力または「4.3.CSV ファイル選択機能」で選択したがん登録 CSV ファイルのデータをがん登録 CDAR2 の XML のデータに変換し、ファイルに保存する機能である。

CSV ファイル内の行数と同じ XML ファイルが作成される。

保存フォルダは指定することができる。

XML ファイル名は“{医療機関コード}\_{患者 ID 番号}\_{重複番号}.xml”になる。重複番号が無い場合は“{医療機関コード}\_{患者 ID 番号}.xml”になる。

「CSV データ配列パターン」のパターンと指定した CSV ファイルのパターンが一致しない場合、患者 ID 番号が設定されていない CSV データがある場合は変換できない。

CSV データは、“/”（カンマ）を CSV の区切り文字以外では使用できない。

CSV データ内のコード値の桁数が 1 桁で、正規のコード値の桁数が 2 桁の場合は、先頭に 0 を追加したコードが XML のコード値になる。この場合は、XML に変換した時に自動で 2 桁に変換される。

例：1（CSV データ） → 01（変換した XML データ）

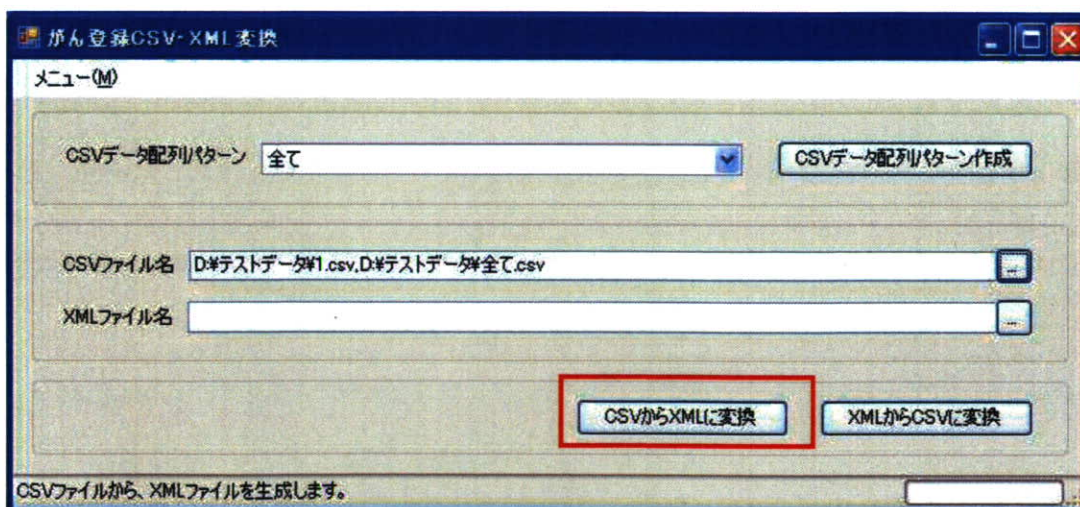


図 4-5